

平成28年度愛知県現任保育士研修シラバス

担当研修名	乳児保育専門研修
担当科目名	乳児期の子どもの発達と子どもの理解、援助の視点・方法
担当講師名	三神廣子
講義のあらまし	<p>毎日の保育で子どもの行動に深く考えている時間は少なく、流されがちになるであろう。</p> <p>このような現場で少しでも子どもを客観的に見ることができる理論(ピアジェ・フロイド・ヴィゴツキー・エリクソン・脳科学から見た子どもの発達など)を思い出すことにより目の前の子どもに応用することも、保育の質の向上に役立つと考えられる。</p> <p>・発達の代表的な理論・子ども理解における発達の把握・初期体験の重要性(ピアジェの認知理論・人間関係)・感情、情動の芽生え・乳児期の特徴と発達課題に応じた援助やかかわり・本が好きな子に育つための乳児期のかかわり・発達のものさしの使い方ー出来た、できないではなくーなど。</p>
持ち物・服装等注意点	特になし
受講に際しての注意点 ・事前準備等	日々の保育での失敗例、成功例を1例以上お持ちください。(別紙あり)

平成 28 年度愛知県現任保育士研修（乳児研修）事前準備

「乳児期の子どもの発達と子どもの理解、援助の視点・方法」

担当 三神廣子（修文大学短期大学部）

1. 【日々の保育での失敗例・成功例】を1例以上ご記入し、8月24日にご持参ください。

ご協力ありがとうございました。

平成28年度愛知県現任保育士研修シラバス

担当研修名	乳児保育専門研修
担当科目名	子育て支援制度について
担当講師名	鈴木順子
講義のあらまし	<u>3限</u> ① 保育の計画の必要性 ② 保育所保育指針から ③ 指導計画の種類と特徴 ④ 0～2歳児の発達過程 ⑤ 指導計画づくりの準備とポイント ⑥ 年齢別のポイント ⑦ 実践後のふり返り <u>4限</u> 軍手人形を作ろう
持ち物・服装等注意点	特になし
受講に際しての注意点 ・事前準備等	特になし

平成 28 年度愛知県現任保育士研修シラバス

担当研修名	乳児保育専門研修
担当科目名	乳児救急
担当講師名	山田恵子
講義のあらまし	<p>近年、保育所は就学前の子ども達が生活する場として広く利用されてきています。保育所は子どもが安全に過ごせる場所でなければなりません。窒息や溺水による重大事故や死亡事案も報告されており、保育所における安全対策や事故発生時の対応として救急蘇生や応急手当のスキルは重要となってきます。</p> <p>そこで今回は、子どもの事故の特徴や最近の事案、事故予防について教授し、救急蘇生については、乳幼児のモデル人形を使った演習を行い事故予防と事故発生時の適切な対応について学んでいきます。</p> <p>また、怪我や発熱時の対応、食物アレルギーやエビペンについても教授し、演習を通して学びます。</p>
持ち物・服装等注意点	動きやすい服装、タオル、水分を準備されるとよいです。
受講に際しての注意点 ・事前準備等	演習があります。当日、体調に不安のある方は申し出てください。 Ex) 腰痛がある、手を怪我している、風邪気味など

平成28年度愛知県現任保育士研修シラバス

担当研修名	乳児保育専門研修
担当科目名	乳児保育の意義、子どもの最善の利益の保障
担当講師名	豊田和子
講義のあらまし	<p>1 限目「乳児保育の意義」 なぜ、いま、乳児保育が重要になっているのかについて考える。我が国の乳児保育の歴史を振り返り、最近の乳児保育政策の動向を知り、乳児保育の新たな課題を理解する。</p> <p>2 限目「子どもの最善の利益の保障と乳児保育」 「子どもの最善の利益」とは、乳児保育の場合、どういうことを意味するのか、それを保障するためにはどのような課題があるのか、施設環境の改善や保育士の質的な向上の問題についても考える。</p>
持ち物・服装等注意点	筆記用具
受講に際しての注意点・事前準備等	演習形式もいくらか取り入れるので、受け身的学習ではない姿勢で受講してほしい。

平成28年度愛知県現任保育士研修シラバス

担当研修名	乳児保育専門研修
担当科目名	乳児期の子どもの発達と子どもの理解・援助の視点・方法
担当講師名	中嶋理香
講義のあらまし	<p>社会的な問題となっている子どもの貧困，家庭の教育力の低下をふまえて，乳児期の子どもの発達支援の重要性を理解することを目的とする。</p> <p>普遍的な発達として，乳児期の発達の特徴を粗大運動の発達，認知発達，社会情動発達，言語発達の各領域別に学ぶとともに，その関連性を理解する。</p> <p>社会状況の変化にそった乳児期の発達として，環境という視点を理解する。</p>
持ち物・服装等注意点	特になし
受講に際しての注意点 ・事前準備等	特になし